国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチだより(2018年4月号)

新しい生活のスタートで問われる人権意識

春は新しい生活がスタートする季節です。入学、就職、異動等、今までとは異なる環境が始まります。同時に、慣れない環境にストレスを抱えて、場合によっては鬱状態になってしまうこともあります。よく五月病と言いますが、多かれ少なかれ精神的負担がその環境で作り出されてしまいます。

そんなときこそ人権意識が問われます。新しい環境となる本人だけではなく、それを迎え入れる周りの方たちの意識によって、その精神的負担を軽減できるものと思います。誰しもが、かつては新入生であり新入社員であったはずです。誰も知らない部署に異動したことがある人もいるでしょう。そのときの不安な気持ちや、何をどうしたらよいのかわからない状態を思い出して、一声かける、困っていたら手を差し伸べるなど、目の前でできることをしてあげることが大切です。



一言で言えば「人を思いやる気持ち」です。日頃から人権意識があれば、新しい人が入ってきたからということではなく特別に考えなくても行動できるはずです。

また、新しい環境となった本人も、慣れていない自分自身の立場を理解して行動することが大切です。これも「自分を見つめ、人を思いやる」人権意識です。期待に胸膨らむ新しいスタートだからこそ、学校や職場などにおいて、人権感覚をもった対応が求められます。

世界人権宣言70周年記念

1948年に世界人権宣言が採択されてから今年で70周年を迎えます。現在、世界人権宣言70周年記念ウェブサイトが公開されていますので、ご紹介いたします。





http://www.standup4humanrights.org/en/index.html

以下、国際連合広報センター・ホームページより引用 http://www.unic.or.jp/news_press/info/24523/

世界人権宣言 70 周年(1948 - 2018): 人権のために立ち上がろう - あなたの声を加えよう!

世界人権宣言が採択されてから2018年で70周年を迎えます。この貴重な機会に、みんなで人権のために立ち上がりましょう!

現在、世界人権宣言70周年記念ウェブサイトでは、世界の人々が世界人権宣言を読み上げるキャンペーンを行っています。世界人権宣言(135か国語に対応)の30の条文のうちひとつを選び、その読む姿を動画に収めウェブサイトで公開し、この宣言の理念を世界中の人々と分かち合うことを目指しています。

マルチリンガル・ビデオ・コレクションにようこそ!

世界人権宣言は、人権および自由を尊重し確保するために、「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」を宣言したものであり、人権の歴史において重要な地位を占めています。1948年12月10日に第3回国連総会において採択されました。なお、1950年の第5回国連総会において、毎年12月10日を「人権デー」として、世界中で記念行事を行うことが決議されました。

人権はすべての人の権利です。世界人権宣言70周年記念ウェブサイトでは、世界中の人々が#RightsOutLoud(権利を大きな声で)を読む姿を見ることができます。言語、国、条文を選んでください。世界人権宣言がいかに世界の多くの場所で読まれているか、確認することができます。

世界人権宣言は、最も多くの言語に翻訳された文書としてギネス世界記録にも認定されています。しかし、あまりに多くの人が、人間としての基本的権利に気づいていません。このウェブサイトでは、世界人権宣言の動画を60以上の言語で聞くことができます。